

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105693
法人名	医療法人 河原医院
事業所名	グループホーム ひめ椿
所在地	松山市今在家4丁目7-28
自己評価作成日	平成22年2月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個人個人を尊重し、日々を安心・安楽に齟齬して頂ける様心がけ、一人ひとりに応じた細かいケアを行っている。
また、入居者及びご家族との信頼関係作りに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●町内にある法人施設や系列グループホームとともに夏祭りや敬老会時に、地域の方達と交流されている。秋祭りには事業所にみこしが来て、神主さんが利用者一人ひとりお祓いをしてくださる。天気の良い日には、法人施設まで歩いて受診に行かれており、出会う方に挨拶をされたり、近所の方から「元気ですか」と声をかけてもらうこともある。利用者が行方不明になったような時には、広報塔で放送してもらえるようになっている。
●公園で行われた地域の防災訓練時には、車椅子を利用されている利用者と参加し、地域の方に車椅子の押し方等を体験していただいた。事業所独自での避難訓練は夜間、昼間の火災発生を想定して年2回行っておられ、消防署の方に教えていただいた避難場所等に誘導する等、訓練をされた。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム ひめ椿

(ユニット名) もみじ

記入者(管理者)

氏 名 山口 聡美

評価完了日 H22年 2月 15日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
Ⅰ.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			独自で理念を作り、事務所内に掲示し、全職員が共有して実践に繋げる様に努めている。	
			(外部評価)	
			利用者が「向上心を持って生活できるように、一人一人にあった居心地の良い家にいるような、安心できる環境作りをお手伝いします。」と事業所が目指すことを掲げてパンフレット等にも示しておられた。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			地域行事へ参加したり、事業所での行事・運営推進会議に地域の方々に参加して頂いている。また、地域のごみ出しでは、当番で収集場所の掃除も行っている。	
			(外部評価)	
			町内にある法人施設や系列グループホームとともに行う夏祭りや敬老会時に、地域の方達と交流されている。又、秋祭りには事業所にみこしが来て、神主さんが利用者一人ひとりお祓いをしてくださる。天気の良い日には、法人施設まで歩いて受診に行かれており、出会う方に挨拶をされたり、近所の方から「元気ですか」と声をかけてもらうこともある。利用者が行方不明になったような時には、広報塔で放送してもらえるようになっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			行事の際に地域の方々に参加して頂き、認知症に対する理解を深めて頂いている。また、運営推進会議の中で、車椅子の介助方法について地域の方々に知って頂ける様、課題にあげている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			各ユニットごとに現状報告をし、地域の方々と意見交 換を行い、そこでの意見を職員全員に周知し、日常に 活かしている。	
			(外部評価)	
			現在は、町内にある系列グループホームと合同で法人 の施設内で会議を開催されている。事業所からは行事 報告や利用者の現状報告をされている。又、法人全体 で行う夏祭り等について地域の方達と話し合う場にも なっており、行事についてのご意見等もうかがってお られる。地域の方には地域行事等を教えてもらってい る。	さらに、貴事業所のケアサービスの向上につながるよ うな会議の工夫を重ねていかれてほしい。現在ご家族 は、事業所からは1名の参加となっているが、他のご 家族にも案内されたり、会議の内容等も伝えていかれ てほしい。貴グループホームの取り組みをさらに知っ ていただき、ご意見等をうかがえるような会議のすす め方についても工夫されてみてほしい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価)	
			運営推進会議に参加して頂き、実情を伝え、指導・協 力を得れるような関係作りに努めている。	
			(外部評価)	
			市の担当者は運営推進会議時、事業所からの行事等の 報告を受けて意見等を言ってくださっている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			勉強会等で、身体拘束について学び、見守り・声掛け 等を強化し、身体拘束を行わないケアに取り組んでい る。(敷地外へ出られる方がいる為、現在ご家族や施 設長の許可を得て門を施錠させて頂いている)	
			(外部評価)	
			外部研修や法人内の研修で身体拘束をしないケアにつ いて勉強をされている。現在は、気ままに出かける利 用者があり、門扉に施錠をされている。	今後、事業所では職員の増員等も検討されている。さ らに、ご本人の行動についてアセスメントしながら傾 向を探り、支援に工夫を重ね、鍵をかけずにすむケア の実践に向けて取り組んでいかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会で虐待について学び、虐待が見過ごされることの無いよう、職員一人ひとりが注意し、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 今までに活用した事はないが、成年後見制度について職員が学べる様に、勉強会のテーマにもなっている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所・退所時には説明をしっかり行い、不安・疑問に思われている事を伺い、理解・納得して貰った上で契約に同意して貰っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議で意見を伺ったり、ホーム内に意見箱を設置したり、重要事項説明書に相談窓口を明記している。苦情、意見等があった場合には、随時話し合いを行っている。 (外部評価) 昨年、はじめて家族会を開かれ5名ほどのご家族が参加された。会議では、年間の行事予定や外部評価の報告をされたり、ご近所との交流の様子等を伝えられた。利用者ご家族へ毎月送付する書類に、事業所から個別にお便りを同封されている。便りには、事業所の行事報告や今後の行事の予定、ご本人の健康状態等、状況の報告を記しておられる。今年度は新型インフルエンザの予防のために3か月ほどご家族の面会をお断りされた。	3月に管理者の交代があったこともあり、今後ご家族との関係作り等をすすめていきたいと考えておられた。さらに、ご家族の知りたいことを探り、ご家族が定期的に知ることができるような取り組みや食事や入浴、外出等、事業所が取り組んでいるケアサービスについても具体的に伝え、ご意見をうかがってみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月ユニット会を行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。	
			(外部評価)	
			毎月のユニット会等の職員会では、行事の計画やケア等について意見を出し合い、話し合っておられる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員一人ひとりの事を把握し、それぞれが生き生きと働ける様、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			施設内の研修を計画し、職員に参加を促して知識の向上に努めている。法人外の研修はお知らせを掲示し、個々の予定が合えば参加を勧めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			同業者との交流はなかなか行えていないが、同系列の老健や病院のスタッフとの会話の中で、知識を得たりサービスの質の向上に努めている	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			本人の思いや要望を傾聴しながら柔軟に対応し、信頼関係作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族との会話の機会を大切にし、不安や疑問に思われている事があれば、ご家族が納得できるまで説明し、信頼関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人・ご家族が必要としている支援を見極め、必要であれば他のサービス利用も含めた対応が出来る様、取り組んでいる。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩として共に生活する者同士、助け合い、支えあいながら信頼関係作りに努めている。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ユニット便り、面会時等に日々の様子、身体状況等を報告し、連携を取りながら関係づくりに努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人の方が来られやすい環境づくり、友人との外出支援等を行っているが、職員と本人が馴染みの場所に行く等の支援は出来ていない。 (外部評価) ご家族が来られた際には居室でゆっくり過ごせるように配慮されたり、遠くにお住まいのご家族からファックスをもらった際に、お手紙を書かれる利用者のお手伝いをされている。	

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者一人ひとりを把握し、孤立せず、入居者同士よりよい関係が築けるよう、支援している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 終了後にご家族に会った際にも声を掛け、相談できる関係づくりを日頃から心がけている。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 把握に努め、本人の希望・以降に沿える様努めている。また、一人ひとりについて話し合う機会を設けている。	
			(外部評価) 要介護認定更新時に、ご本人の状態についてアセスメントするようになっている。	さらに、利用者一人ひとりの思いや意向を知るためのアセスメントにも取り組んでいかれてほしい。利用者個々の言葉の背景を探ったり、利用者個々がどのような暮らしを求めているのかということを探り、利用者個々が主体の「向上心を持って生活できるよう」な支援につなげていかれてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族の話やケース記録を元に、生活歴やサービス利用の経過等の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日々の観察、職員同士の申し送りをしっかり行い、現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	(自己評価)	
			職員同士で話し合う機会を設け、ご家族とは面会時等に話し合い、意見・アイデアを出来る限り反映している。	
			(外部評価)	
			職員会時に利用者個々の介護計画についてモニタリングされたり、支援内容について話し合われている。ご家族の来訪時にご家族の要望等をお聞きしている。ご本人のお好きな掃除や風船バレー等のレクレーションも、支援内容に採り入れておられた。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			様子等、細かく記入し、職員間で情報の共有に努め、問題点の改善等、見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			入居者の体調が悪くなった時は、同系列の施設の看護師に来て貰い処置したり、主治医の指示を仰いだりと対応している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			全ての地域資源を把握できてはいないが、ボランティアの方に来て頂く等し、生活が少しでも楽しくなる様、支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			入所時にご本人、またはご家族の希望を伺い、希望に 沿った医療が受けられる様にしている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(外部評価)	
			利用者、ご家族の希望するかかりつけ医を受診でき るよう支援されている。ご家族が付き添われたり、職員 が同行して支援されている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			施設中での様子、入院した後の病院中での様子を、互 いに情報交換して連携を取っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所のできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			全ての入居者の方と十分な話し合いは出来ておらず、 地域の関係者と共に支援は出来ていない。	
			(外部評価)	
			事業所では今年度、医療連携加算をとって利用者ご家 族の希望に応じて、事業所でも終末期支援を行うこと を決められていた。終末期のあり方等について、ご本 人やご家族の希望や意向をお聞きすることは今後の取 り組みとなっていた。	さらに、利用者やご家族の希望等を踏まえて、事業所 内の体制作り等もすすめていかれてほしい。職員は、 利用者の持病や服薬についての知識について、全職員 でしっかり理解して支援していきたいと話しておられ た。又、ご家族の心配ごとや不安に思っていることに ついて、聞き取るような機会を作ってみてはどうだ ろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時の対応の仕方はマニュアルにて掲示し、応急手当等は勉強会等で勉強している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 消防署の協力を得ながら定期的な訓練を行っている。また、地域の防災訓練にも参加しており、運営推進会議を通じ、協力の呼びかけ等も行っている。 (外部評価) 公園で行われた地域の防災訓練時には、車椅子を利用されている利用者と参加し、地域の方に車椅子の押し方等を体験していただいた。事業所独自の避難訓練は夜間、昼間の火災発生を想定して年2回行っておられ、消防署の方に教えていただいた避難場所等に誘導する等、訓練をされた。いざという時には、お隣に住まわれている大家さんの協力も得られるようになっていく。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりを尊重し、誇りやプライドを傷つける事が無いよう常に心がけ、対応している。 (外部評価) トイレや浴室、居室等、利用者をご自分でブザーを押して職員を呼び出すこともできるようになっている。作業をする際やおしゃべりする時には、仲良しの利用者同士で行えるように配慮されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 入居者一人ひとりが思いや希望を表せ、出来る限りその希望が叶えられる様、支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り希望に沿える様努めているが、職員側の都合を優先してしまっている事の方が多いと思う。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 入浴時等、ご本人に着る服を決めて頂いたり、散髪時にはご本人の意向を一番に伺うようにしている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 毎日行えてはいないが、入居者の方の状態を見ながら簡単な作業を手伝って頂いたり、行事の中で食事づくりの機会を設けている。 (外部評価) 現在は、法人施設から必要な食材が届き、事業所で職員が調理するようになっている。2～3か月に1回行事として、焼き肉やお好み焼き等のリクエストに応えておられる。又、事業所でおやつを作ることもある。職員は、個々にお弁当等を持参し、1名は利用者とともに食べておられた。ランチマットを敷いて食事をされていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの好みや量を考慮しつつ、バランスよく摂取して頂けるよう心がけ、特に水分量については注意を払っている。また、入居者一人ひとりの状態に応じて対応している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 入居者一人ひとりに応じた対応をし、清潔保持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			一人ひとりの排泄パターンを把握し、自立に向けた支援を行っている。	
			(外部評価)	
			排泄の記録をとって、職員が声かけしたり誘導してトイレで排泄できるように支援されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			水分摂取の声掛け、腹部マッサージを行う等、一人ひとりに応じた対応を行っている。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			楽しんで頂ける様努めてはいるが、特変が無い限り曜日・時間帯を決めている為、個人の希望に沿えていない事があると思う。	
			(外部評価)	
			浴室前には今日入浴する利用者の名札がかけられており、入浴が済むと札を裏返すようになっている。1階にはリフト浴があり、車椅子を利用されている方が入浴できるようになっている。又、入浴がない日には足浴を支援されている。	利用者の中には、毎日入浴したいと希望されたり、温泉に行きたいと思っている方もあるようだ。利用者個々の入浴の習慣や好み等を探り、体調等にも十分に配慮しながら、意向を実現できるような支援に取り組んでいかれてほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			入居者の日々の様子を把握し、臥床の声掛けを行ったり、就寝前に足浴を行う等し、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全ての入居者の副作用まで把握できてはいないが、何か症状や変化があった場合には随時薬事情報の確認を行っている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者が楽しみになる様な行事を考え、気分転換や張り合いのある生活が送れる様、支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の希望に沿ってはいっていないが、行事の中に外出を設けたり散歩に出掛ける等し、出来る限りの支援を行っている。また、必要に応じ、ご家族の協力も仰いでいる。 (外部評価) 法人施設で行われる行事や受診に出かけておられる。又、畑の世話をされる方もある。調査訪問時「近々、見奈良の菜の花を見に出かけ、食事をして帰るんです。楽しみにしている。」と話して下さった利用者もあった。利用者の中には外出を嫌われるような方もあり、外出の希望を聞いたり出かけるような機会は少ないようである。	さらに、利用者個々の行きたいところや懐かしい場所、やってみたいこと等を探り、ご家族にも相談しながら実現できるよう、取り組みをすすめてみてはどうだろうか。又、ご家族も一緒に楽しめるような機会を作る等、外出して楽しむような機会を増やし、個々の生活を広げていかれてほしい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 一人ひとりに応じた金銭管理を行っており、入居者の希望、ご家族の意見も伺いながらお金を所持し、使用できる様支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 入居者の希望に応じ、電話を掛けて頂いたり、希望された際には取次ぎの支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			常に清潔を心がけ、心地よい空間であるよう、光・温度等に配慮している。また、季節の花を生けたり壁面作りを行い、季節を感じられるよう支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			利用者が居間に飾るお花の水切りを毎日してくださっている。居間と別の場所に外を眺めながら過ごせるスペースがあり、利用者は車椅子で外を眺めておられた。職員が色画用紙でお雛様を作り壁に飾っておられた。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			希望に応じ、使い慣れた家具を置いたり、壁に写真を貼る等し、その人に合った部屋作りを行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			各居室に洗面台があり、車椅子を利用されている方はご自分でうがいをしておられた。いろいろな化粧品を置き、食後に、ご自分で口紅を塗り直して出てこられた方もあった。又、食後には居室で横になって一休みをされる方も見られた。畳を敷き、こたつを置いている方もあった。	
55			(自己評価)	
			居室に表札を掲げ、入居者が分かりやすい様工夫している。また、廊下・トイレ等に手すりを設置し、階段は上り下りが行いやすい様、一段一段の高さを低くする等、工夫している。	